

地理歴史・公民・数学

(1～72ページ)

注 意

- 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- この問題用紙には、次の5科目の問題が収められています。
 地理総合・地理探究 (1～23ページ)
 歴史総合・日本史探究 (25～38ページ)
 歴史総合・世界史探究 (39～50ページ)
 公共，政治・経済 (51～63ページ)
 数 学 (65～72ページ)
- 5科目の中から1科目を選択し、解答は解答用紙にマークしなさい。解答用紙は5科目共通なので、科目によっては使用しない解答欄があります。
- 解答用紙に受験番号・氏名・選択科目を記入しなさい。
 受験番号と選択科目は、下記の「受験番号欄記入例」「選択科目欄記入例」に従って正確にマークしなさい。
- 試験時間は 60分 です。
- 試験開始後、問題用紙に不備 (ページのふぞろい・印刷不鮮明など) があったら申し出なさい。
- 問題の内容についての質問には、いっさい応じられません。

解答用紙の受験番号欄記入例・選択科目欄記入例

数字の位置	受 験 番 号				
	万	千	百	十	一
0	2	/	9	0	/
1	①	●	①	①	●
2	●	②	②	②	②
3	③	③	③	③	③
4	④	④	④	④	④
5	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
6	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
7	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
8	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
9	⑨	⑨	●	⑨	⑨

数字の位置に注意してマークしなさい

「数学」を選択した場合

選 択 科 目				
○	○	○	○	●
地理総合・地理探究	歴史総合・日本史探究	歴史総合・世界史探究	公共，政治・経済	数 学

必ずマークしなさい

マーク式解答欄記入上の注意

- 解答は、HBの黒鉛筆を使用して丁寧にマークしなさい。
 《マーク例》
 良い例 ●
 悪い例 ○ × ○ ○
- 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで、きれいにマークを消し取りなさい。
- 所定の記入欄以外には、何も記入してはいけません。
- 解答用紙を汚したり、折り曲げたりしてはいけません。

歴史総合・日本史探究

I 次の〔年表〕〔文章〕を読み、**1**～**10**の問いに答えなさい。

〔年表〕

667年	(ア) <u>近江大津宮に遷都する。</u>
672年	飛鳥浄御原宮に遷都する。
694年	(イ) <u>藤原京に遷都する。</u>
710年	(ウ) <u>平城京に遷都する。</u>
784年	(エ) <u>長岡京に遷都する。</u>

1 下線部(ア)を行った人物の政策に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 磐井の乱を制圧し、屯倉を設置した。
2. 後に永久保存とされた庚午年籍を作成した。
3. 磐舟柵を設置した。
4. 富本銭と呼ばれる貨幣の鑄造を行った。

2 下線部(イ)に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 宮は中央におかれ、日本で最初の条坊制による京をとまっている。
2. 宮は北辺におかれ、日本で最初の条坊制による京をとまっている。
3. 宮は中央におかれ、京の東部には外京が張り出す形をとった。
4. 宮は北辺におかれ、京の東部には外京が張り出す形をとった。

3 下線部(ウ)から発掘された木簡に関連する説明文aとbの正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- a. 平城京の長屋王邸からは大量の木簡が出土した。
- b. 木簡からは、全国から都にさまざまな食材や特産品が運ばれていたことがわかる。

1. a・bともに正文である。
2. aは正文でありbは誤文である。
3. aは誤文でありbは正文である。
4. a・bともに誤文である。

4 下線部(エ)は完成が断念されたが、その理由の1つとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 蝦夷征討を優先するため。
2. 菅野真道が造都の中止を提言したため。
3. 藤原種継の怨霊が相次ぐ不幸をおこしたため。
4. 洪水の被害があったため。

- 5 下線部(ウ)と(エ)の間の時期における次の1～4の出来事を年代順に並びかえた場合、古い順から数えて3番目となるものはどれか。最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 国分寺建立の詔が出された。
2. 橘奈良麻呂の変が起きた。
3. 大仏造立の詔が出された。
4. 恵美押勝の乱が起きた。

[文章]

10世紀から11世紀の文化は国風文化といわれる。この時期には代表的な文学作品の冒頭に「を^(オ)とこもする日記といふものを、をむなもしてみむとてするなり」とあるように、かな文字を使用した日記^(カ)が記されるようになった。

この時期には、現世の不安から逃れようとした浄土教も流行した。京では「口^(ク)に常に弥陀仏を唱ふ。故に世に阿弥陀聖と号づく。或は市中に住して仏事を作り、また市聖と号づく(原漢文)」とされた人物により布教が行われた。また、このころ著されたものの一節に「是の故に念仏の一門^(ケ)に依りて、聊か経論の要文を集む。之を披きて之を修むるに、覚り易く、行い易からん。(原漢文)」とあり、浄土教は貴族をはじめ庶民にも広まった。

- 6 下線部(オ)に関する説明文aとbの正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- a. 中国大陆の文化を一切排除して、日本独自の文化として誕生した。
b. この文化が生まれ、定着した時期は、日本と中国大陆の間で人の往来は見られなかった。

1. a・bともに正文である。
2. aは正文でありbは誤文である。
3. aは誤文でありbは正文である。
4. a・bともに誤文である。

- 7 下線部(カ)が記された作品の著者として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 紀貫之
2. 和泉式部
3. 藤原道綱母
4. 源 順

- 8 下線部(キ)に関連して、当時の貴族は先例や儀式を記録して子孫に伝えるためにも日記を記した。こうした日記と筆者の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 『更級日記』— 在原業平
2. 『西宮記』— 藤原頼通
3. 『小右記』— 藤原実資
4. 『北山抄』— 源高明

- 9 下線部(ク)が示す人物として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 行 基
2. 空 也
3. 最 澄
4. 信 西

- 10 下線部(ケ)が記載されている作品として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 『経国集』
2. 『扶桑略記』
3. 『日本往生極楽記』
4. 『往生要集』

Ⅱ 次の〔年表〕を見て、また〔文章〕、〔史料〕を読み、**11**～**20**の問いに答えなさい。

〔年表〕

A	1016年	藤原道長が摂政となる。
B	1028年	東国で平忠常の乱が起きる。 (ア)
C	1051年	陸奥国で前九年合戦がはじまる。
D	1068年	後三条天皇の親政がはじまる。 (イ)
E	1086年	白河上皇が院政を開始する。
F	1124年	藤原清衡が中尊寺金色堂を建立する。 (ウ)

11 下線部(ア)に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 上野国で起きた乱であり、源頼信により鎮圧された。
2. 上総国で起きた乱であり、藤原秀郷により鎮圧された。
3. 上野国で起きた乱であり、藤原秀郷により鎮圧された。
4. 上総国で起きた乱であり、源頼信により鎮圧された。

12 下線部(イ)に関する説明文あ～えの組み合わせとして最も適切なものを、次の1～6から1つ選びなさい。

- あ. 摂関家出身ではない中下級の官人を登用した。
い. 独自の兵力として西面の武士を置いた。
う. 荘園調査のための役所を初めて設置した。
え. 大輪田泊を修築して宋との貿易を推進した。

1. あ・い 2. あ・う 3. あ・え 4. い・う 5. い・え 6. う・え

13 下線部(ウ)と同じ院政期の建築物として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 富貴寺大堂 2. 円覚寺舍利殿 3. 東大寺法華堂 4. 室生寺金堂

14 いわゆる「末法の世」の初年と考えられていたのはいつか。最も適切なものを次の1～5から1つ選びなさい。

1. AとBの間 2. BとCの間 3. CとDの間
4. DとEの間 5. EとFの間

〔文章〕

南北朝の動乱期から、朝鮮半島や中国の沿岸地域で海賊行為を行う倭寇の活動が深刻な問題となった。1369年に明は倭寇の禁圧を日本に要請し、その後倭寇対策も含めた朝貢貿易である日明貿易が15世紀初頭に開始され、明銭など多くの品物が輸入された。貿易は明から交付された勘合を所持した船にのみ認められたことから、室町幕府は有力な守護大名や寺社にも勘合を与えるかわりに、貿易による利益の一部を納めさせた。応仁の乱の後、勘合の実質的な管理権は堺商人と結んだ細川氏と、博多商人と結んだ大内氏に移り、さらに〔オ〕の後には大内氏が実権を握った。16世紀半ばに大内氏が滅亡すると再び倭寇の活動がみられたが、海賊取締令が出されたことにより鎮静化した。

15 下線部(エ)に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 明に国交を求める文書の中で、足利義満は自らを「日本国王」と称した。
2. 輸入された明銭には永楽通宝、開元通宝などがあった。
3. 日本からは生糸や木綿を中心に、銅や刀剣も輸出された。
4. 日明貿易は一時中断されたが、足利義教が将軍になると再開された。

16 空欄〔オ〕に入る文として最も適切なものを、次の1～6から1つ選びなさい。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 1510年代に三浦で起きた両者の衝突 | 2. 1510年代に寧波で起きた両者の衝突 |
| 3. 1520年代に三浦で起きた両者の衝突 | 4. 1520年代に寧波で起きた両者の衝突 |
| 5. 1530年代に三浦で起きた両者の衝突 | 6. 1530年代に寧波で起きた両者の衝突 |

17 下線部(カ)の政策を出した人物に関する説明文と、その人物の政治的拠点の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

＜人物に関する説明文＞

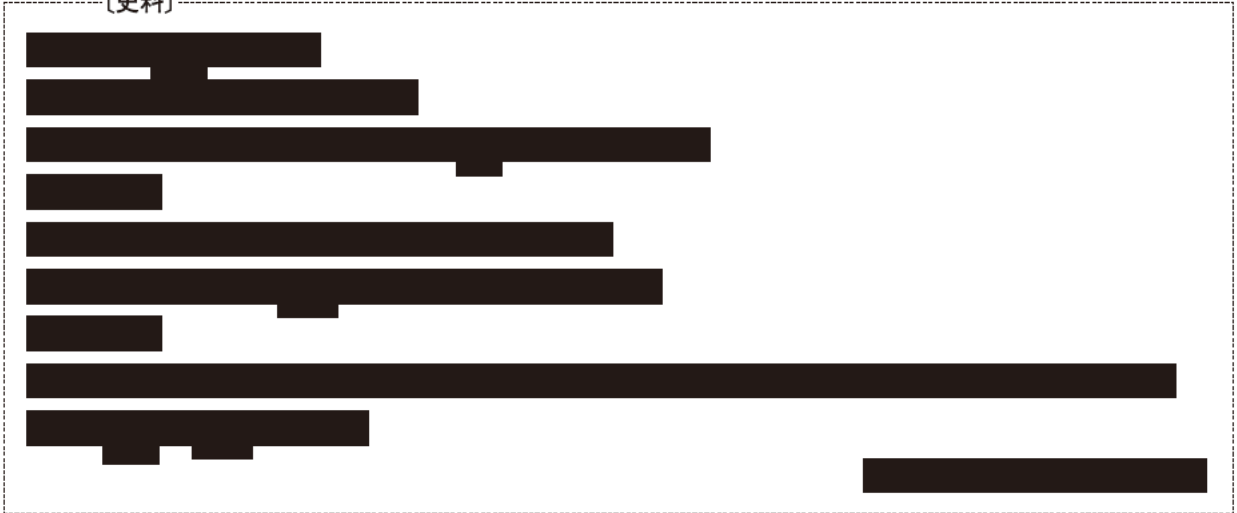
- あ. 13代将軍足利義輝の弟を奉じて上洛し将軍職につけた。
 い. 四国の長宗我部氏につづき、九州の島津氏も屈服させた。

＜政治的拠点＞

- X. 大坂城 Y. 安土城

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. あ・X | 2. あ・Y | 3. い・X | 4. い・Y |
|--------|--------|--------|--------|

〔史料〕



18 下線部(キ)に関連する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 地下掟は五人組という連帯責任組織とあわせて運営された。
2. 地下掟の違反者には地下検断と呼ばれる制裁が科せられた。
3. 地下掟は名主・組頭・百姓代などの有力者を中心として制定された。
4. 地下掟に違反したことにより逃散する者もあらわれた。

19 下線部(ク)の説明として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 能などの芸能集団
2. 同業者団体
3. 村の祭祀組織
4. 委託販売業者

20 〔史料〕の内容を説明した文aとbの正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

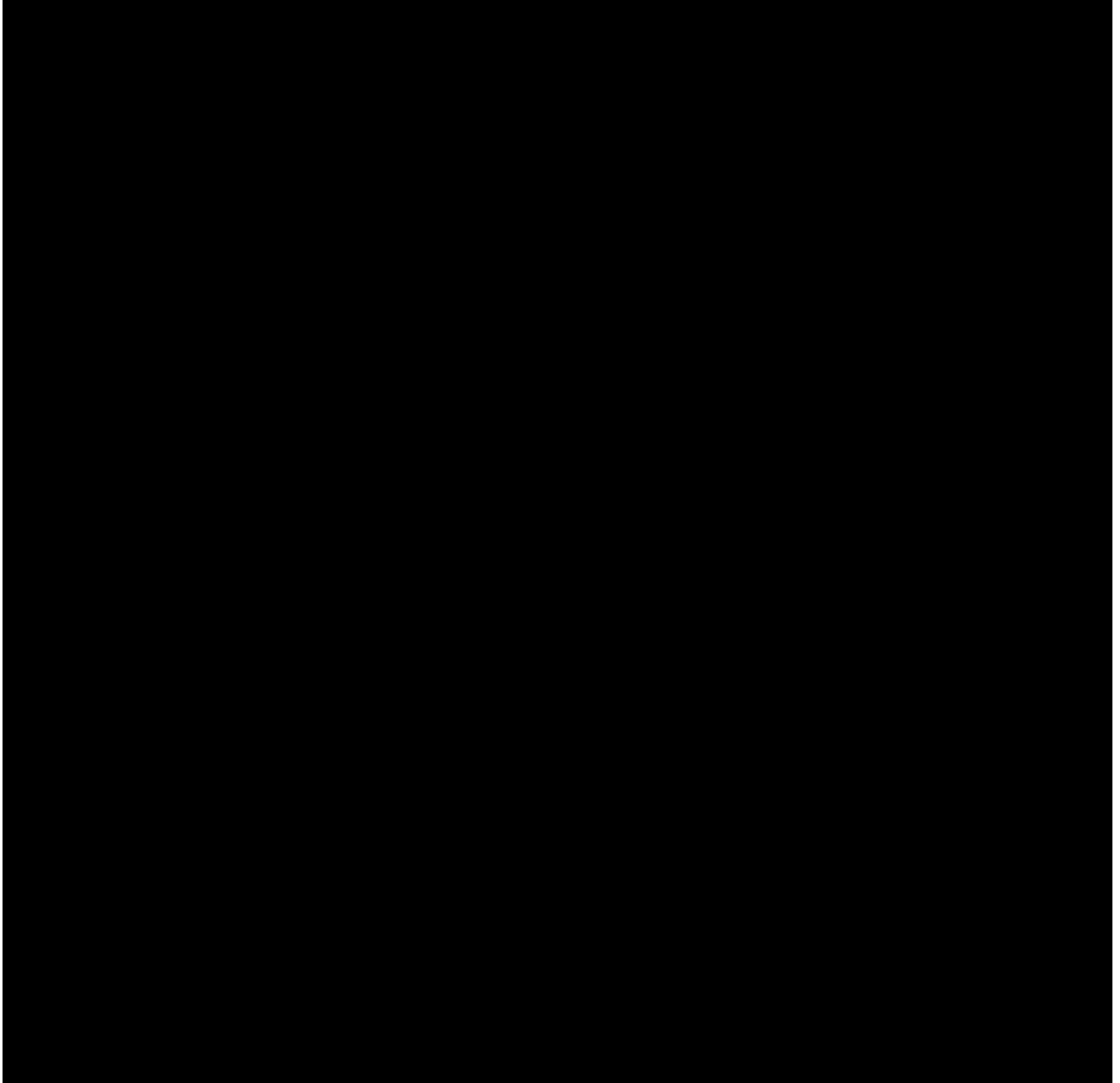
- a. 惣が外部の人間に対しても開放的であることがわかる。
b. 貨幣経済が惣にも浸透している状況がうかがえる。

1. a・bともに正文である。
2. aは正文でありbは誤文である。
3. aは誤文でありbは正文である。
4. a・bともに誤文である。

次ページに続く

Ⅲ 授業で江戸時代の政治を学んだあと、課題発表することになった。以下の発表メモや、集めた史料・図などをみて、**21** ～ **30** の問いに答えなさい(史料は一部省略したり、書き改めたところもある)。

A タカシは発表メモのグラフをみながら、江戸時代前期の大名統制政策について考え、【発表の要点】をまとめた。



【発表の要点】 グラフでは徳川家康の時期での改易・転封数が非常に多いが、算出基準の期間を確認したところ、参考表にある通り、家康の場合、将軍在職期に加えて将軍就任前が入っていることに気づいた。(ア) 改めて家康の将軍就任以降の改易・転封数で再計算すると、家康から家光の3代で改易・転封数全体の約半数を占めていた。1637から1638年の九州での一揆が終わると大軍を動員する騒乱はなくなり、職制が整うことで幕府の支配体制が安定するようになった。(イ) 1637から1638年の九州での一揆が終わると大軍を動員する騒乱はなくなり、職制が整うことで幕府の支配体制が安定するようになった。(ウ) しかしその一方で、多くの大名が改易されたことで、半人は増加していた。4代家綱・5代綱吉の政治方針も、改易・転封数と関連があると考えた。まず、家綱のころ、従来の政治方針を転換して文治主義的な傾向を強めたことで、改易・転封数が大きく減少した。(エ) ところが、その政治傾向が強まる5代綱吉の時、改易・転封数が逆に増加する。その後、6代家宣以降、転封数は徐々に減少傾向をみせるようになり、改易に至ってはほぼみられなくなるのである。(オ)

- 21 下線部(ア)に関する説明文 a と b の正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の 1～4 から 1 つ選びなさい。

- a. 関ヶ原合戦の戦後処理では、五大老である石田三成が処罰された。
b. 大坂の陣によって、豊臣秀頼が減び、一国一城令が発令された。

1. a・bとも正文である。 2. aは正文でありbは誤文である。
3. aは誤文でありbは正文である。 4. a・bとも誤文である。

- 22 下線部(イ)に関する説明文として最も適切なものを、次の 1～4 から 1 つ選びなさい。

1. 一揆の鎮圧に幕府は関わらず、九州の外様大名たちに任せていた。
2. 一揆勢は天草(益田)四郎時貞を大将として城跡に立て籠もり、領主側に抵抗した。
3. この一揆は、領主の有馬晴信と小西行長による厳しい年貢取り立てを背景にして起こった。
4. 現地に潜んでいたキリシタンの弾圧が、この一揆の目的のひとつだった。

- 23 下線部(ウ)に関連する説明文として最も適切なものを、次の 1～4 から 1 つ選びなさい。

1. 地方組織として、西国大名の監視を業務のひとつとする京都所司代を置いた。
2. 幕政の実務として老中、その上に最終意思決定権を持つ大老を常置した。
3. 評定所での協議には、三奉行(江戸・大坂・京都の町奉行)が参加した。
4. 長崎奉行は老中支配ではなく、将軍直轄の遠国奉行だった。

- 24 下線部(エ)に関連する説明文として最も適切なものを、次の 1～4 から 1 つ選びなさい。

1. 武家の相続方針として、陽明学に基づいた親子関係のあり方を重視した。
2. 殉死の禁止は、家臣が仕えるのは、主君の家ではなく主君個人であることの強調につながった。
3. 徳川綱吉の発布した武家諸法度では、忠孝より「文武弓馬の道」を重視すべきと書かれた。
4. 徳川家宣は、儒学者の新井白石と側用人間部詮房を登用した。

- 25 下線部(オ)に関連する説明文aとbの正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- a. 徳川綱吉は側用人政治をやめて、譜代・旗本を重視する方針を立てた。
b. 徳川綱吉の将軍在職中に改易された大名の一人が、播磨国赤穂藩の浅野長矩である。

1. a・bとも正文である。
2. aは正文でありbは誤文である。
3. aは誤文でありbは正文である。
4. a・bとも誤文である。

- B サナエは「幕府の改革」をテーマとし、主要な政策の史料カードなどを作成することにした。

史料あ	史料い
史料う	史料え

- 26 史料あ～えのうち、享保改革での政策の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～6から1つ選びなさい。

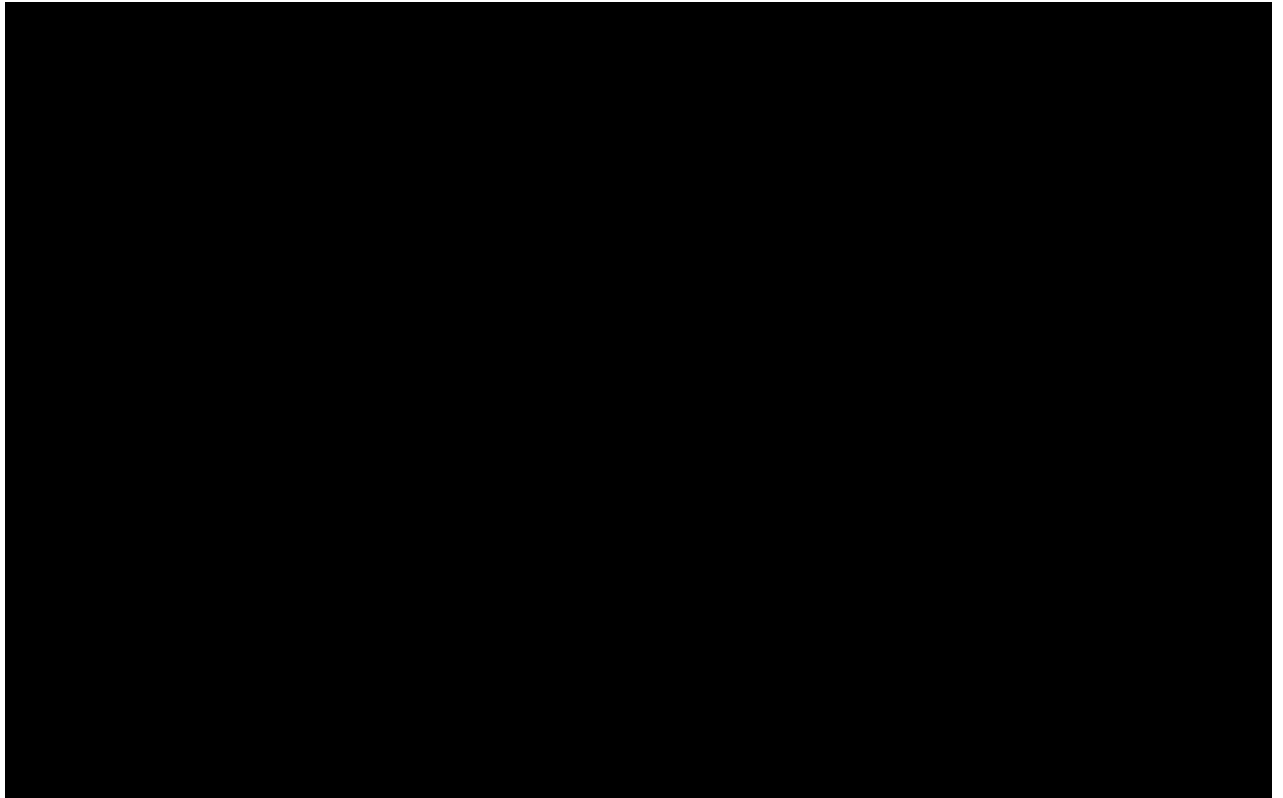
1. 史料あ・史料い
2. 史料あ・史料う
3. 史料あ・史料え
4. 史料い・史料う
5. 史料い・史料え
6. 史料う・史料え

- 27 史料あ～えに関連して、江戸時代の政策の説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 徳川家慶の時、海舶互市新例が出された。
2. 徳川家斉の時、人足寄場が作られた。
3. 徳川吉宗の時、萩原重秀が登用された。
4. 徳川家治の時、関東取締出役が置かれた。

サナエは幕府の改革を調べるなかで、明治時代に描かれた錦絵(図)を見つけ、簡単なメモを作った。

図



28 メモの空欄 (カ) に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 新田開発を奨励する高札が掲げられた。
2. 目安箱の投書により養生所がつくられた。
3. 大坂天満とならぶ青物市場があった。
4. 無宿人を収容した厚生施設がつくられた。

29 メモの下線部(キ)に関連して、初代歌川広重の作品として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 「富嶽三十六景」
2. 「十便十宜図」
3. 「東海道五十三次」
4. 「見返り美人図」

30 メモの下線部(ク)に関連する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 大坂では町人たちの出資により懷徳堂が設立され、山片蟠桃などが輩出された。
2. 閑谷学校にみられる藩校は、藩が設立した藩士やその子弟を教育する施設である。
3. 寺子屋は村役人や富裕町人、神職・僧侶などで運営され、19世紀に入り、急激に衰退した。
4. 『広益国産考』は、元禄文化のころに成立した農書である。

Ⅳ 次の〔史料A〕～〔史料C〕を読み、31～45の問いに答えなさい(史料は一部省略したり、書き改めたところもある)。

〔史料A〕

[Redacted text block containing approximately 15 lines of blacked-out text]

31 〔史料A〕の条約が締結される以前における国際情勢に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. イギリスは対中国貿易の決済のため、中国から大量のアヘンを輸入していた。
2. アメリカでは大陸横断鉄道が完成し、太平洋貿易への関心が高まっていた。
3. 清では洪秀全を中心とする太平天国が南京を占領し、中国南部に勢力を拡大していた。
4. インドではヴィクトリア女王を皇帝とするインド帝国が成立し、イギリスによる直接統治となった。

32 〔史料A〕の条約締結を決定した際の幕政の最高職にあった人物の説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 条約締結の可否をめぐり、これまでの慣例を破って諸大名や幕臣の意見を求めた。
2. 朝廷と幕府の融和をはかる公武合体政策を推進した。
3. 紀伊藩主徳川慶福を13代将軍徳川家定の後継に決定した。
4. 条約締結の勅許を得るため上洛したが、攘夷を主張する公家らの反対により失敗した。

33 下線部(ア)に代わり開港した横浜に関する説明文aとbの正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- a. 外国商は、開港場での日本人商人との取引のほか、生産地に出向いて直接買い付けをおこなった。
b. 横浜港において最大の取引相手となったのはイギリスの貿易商であった。

1. a・bとも正文である。
2. aは正文でありbは誤文である。
3. aは誤文でありbは正文である。
4. a・bとも誤文である。

34 下線部(イ)に関連する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. アヘンの貿易についても自由な取引が認められていた。
2. 幕府が発した五品江戸廻送令に対し、横浜の日本人貿易商は賛成したが外国商は強く反対した。
3. 初期の貿易において、日本からの最大の輸出品となったのは綿糸であった。
4. 初期の貿易において、海外からの輸入品の大半をしめたのは毛織物や綿織物であった。

35 下線部(ウ)の「運上」とは関税のことを指す。これに関連する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 日本が輸出入品に対する関税率を改定するためには、条約締結国の合意が必要であった。
2. 〔史料A〕の条約の貿易章程では、関税率は輸出入ともに20%と定められた。
3. 1866年の改税約書により、輸入品に対する関税率が大幅に引き上げられた。
4. 日本は日英通商航海条約の発効によって、関税自主権を完全に回復した。

下線部(エ)について探究学習をおこなった山田さんは次の内容の発表をおこなった。

条約締結当時の国際市場において、金と銀の価値の比は重量に換算しておよそ金1：銀15であった。一方、日本では19世紀より一分銀と呼ばれる銀貨が発行されていた。貿易開始時に主に流通していた天保一分銀1枚に含まれる銀の含有量はおよそ8.5グラムであったが、金貨である天保小判1両に含まれる金の含有量はおよそ6.3グラムであった。つまり、天保小判1枚と、1両と等価となる1分銀4枚の金銀含有量の比は単純計算でも $6.3 : 34 = 1 : 5.4$ となり、国際的な金銀の価値の比と大きく異なっていた。この状況のもとでは外国商人が〔オ〕ことで、膨大な利益を得ることが可能であった。この問題に対処するため、幕府は万延の貨幣改鑄をおこない、〔カ〕貨の〔カ〕含有量を大幅に〔キ〕ことになった。

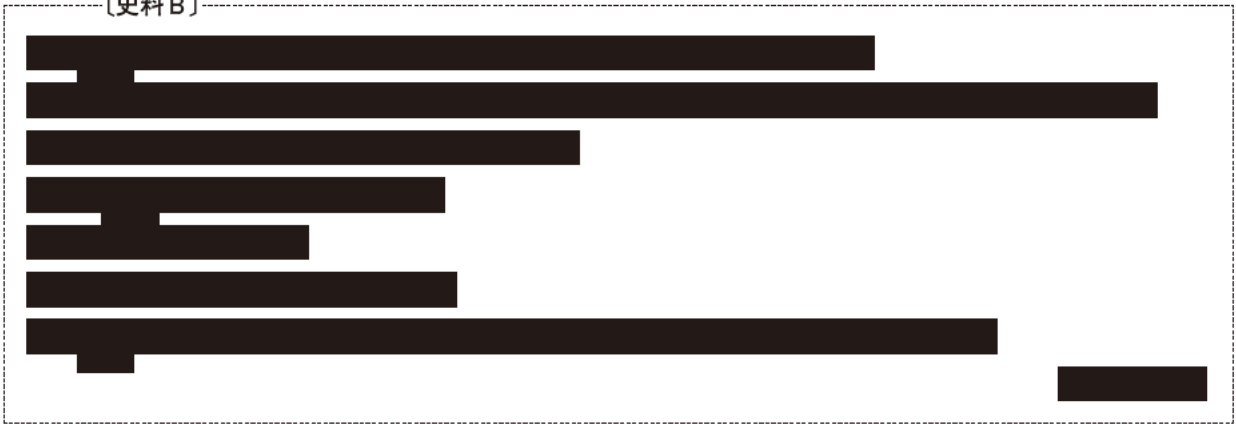
36 空欄〔オ〕に入る文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 海外から銀貨を持ち込み、国内で一分銀と交換して海外に持ち出す
2. 海外から金貨を持ち込み、国内で小判と交換して海外に持ち出す
3. 海外から銀貨を持ち込み、国内で一分銀と交換し、さらに一分銀を小判に両替して海外に持ち出す
4. 海外から金貨を持ち込み、国内で小判と交換し、さらに小判を一分銀に両替して海外に持ち出す

37 空欄〔カ〕・〔キ〕に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 〔カ〕—金 〔キ〕—増やす | 2. 〔カ〕—金 〔キ〕—減らす |
| 3. 〔カ〕—銀 〔キ〕—増やす | 4. 〔カ〕—銀 〔キ〕—減らす |

〔史料B〕



- 38 下線部(ク)に関連する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。
1. 朝鮮は清への朝貢を拒否していたが、清は朝鮮を属国とみなしていた。
 2. 1882年の壬午軍乱(壬午事変)の後、朝鮮国王の外戚閔氏は日本への依存を強めた。
 3. 1885年の天津条約では、日清両国が朝鮮から撤兵し、今後朝鮮に出兵する際は事前に通告すると定められた。
 4. 〔史料B〕の条約締結後、朝鮮では親露派の大院君が政権を握ったが、間もなく閔妃らにより倒された。

- 39 下線部(ケ)について、1898年に4代目の台湾総督に就任し、台湾の土地調査事業を実施し、産業振興を図った人物は誰か。最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。
1. 樺山資紀
 2. 乃木希典
 3. 後藤新平
 4. 児玉源太郎

- 40 下線部(コ)に関連する説明文aとbの正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- a. 賠償金の大部分は、官営八幡製鉄所の建設など日本の産業発展のための費用として使われた。
b. 日本は賠償金をポンド金貨で受け取り、1897年に新貨条例を制定して金本位制を採用した。

1. a・bとも正文である。
2. aは正文でありbは誤文である。
3. aは誤文でありbは正文である。
4. a・bとも誤文である。

- 41 〔史料B〕の条約締結後の東アジアの国際情勢に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。
1. ドイツは威海衛を租借地として獲得し、山東省に勢力をひろげた。
 2. フランスは広州湾と澳門を租借し、中国南部に勢力圏をひろげた。
 3. 義和団事件(義和団戦争)を契機にロシアは中国東北部に出兵し、その後旅順・大連を租借地とした。
 4. イギリスは新たに九龍半島北部の新界を租借するとともに、長江(揚子江)流域を勢力下に置いた。

